印西大師　第77番　師戸・広福寺

1　名称　(No.077)〔資料館：広福寺〕〔行程表：広福寺〕

2　場所　印西市師戸1671　広福寺

師戸・観音堂から道程約230m

GPS座標 35.7604912561319, 140.18374896171937

3　由緒　真言宗豊山派

4　御堂　大師堂の中に丸彫りの御大師様が１体あり。

5　境内　本堂、第33番と第77番の大師堂、本堂前に御大師様の立像と石像、道路沿いに番外の31体の大師堂、さらに集会所や立派な大王松などある。

6　写真　（2020.11、2023.02撮影）

大師堂

御大師様

大師堂

大師堂と銀杏

御大師様と大師堂

大師堂と記念碑

7　情報

(1) 印西大師 第77番 広福寺 御詠歌（泉倉寺本による）

願(ねがい)をば佛道隆に入り果(はて)て 菩提の月を見まくほしさに

四国八十八ヶ所 第77番 真言宗醍醐派 桑多山(そうたざん) 明王院 道隆寺(どうりゅうじ) 写し

(2) 遷座

手引鏡に、「(表紙裏書・異筆) 七十七同(番) 白井新田　砂田 こくぞうどう」との記載（第77番札所を砂田の虚空蔵堂から白井新田に遷座するという意味）があります。また、印西大師巡拝順路図には「第77番 師戸 広福寺 ← 砂田虚空蔵堂より白井新田に遷座するも昭和55年師戸廣福寺へ再び遷座」との記載があります。

砂田・虚空蔵堂跡にあった第77番札所が白井新田・観音堂跡を経て昭和55年に広福寺へ遷座されたということですが、弘法大師像（石像）も同様に移されたということでしょうか。受取

書などが残されていればはっきりするのですが、お寺へ行っても人に出会わないため、なかなかお聞きする機会がありません。

また、なぜ遷座先が広福寺だったのでしょうか。昭和55年頃なら千葉ニュータウンが出来始めた頃ですが、まだまだ印西大師は盛況であった時代です。番外札所の集落から手があがらなかったとは思えません。師戸集落は、かつて第13番札所を白井に渡したという経緯があるので、遷座するなら優先的に（番号は異なっても）こちらに返してもらいたいと思ったのでしょうか。こういった話を、たまたまお寺に来ていた方やお会いした地元の方にお聞きしても「知らない」と言われてしまいそうです。